

未来を創る教員養成セミナー

県の教育課題と 教師に求められる力

群馬県総合教育センター
研究企画係 天田 直木

1 群馬県教育ビジョンについて (第4期群馬県教育振興基本計画)

群馬県教育ビジョンの
策定に向けた想い

【児童生徒の皆さんへ】

自分も、みんなも、幸せになろう——それが、この「群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)」に込めた願いです。

皆さんの人生をどのようなものにしていくかを選択し、決めていくのは、他でしかない皆さん自身です。私たちは、日々の生活や学びを通して、自分を知り、自分の好みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらも、より良い自分と幸せを求めて生きています。

そして、私たちは、自分の人生の主人公であるとともに、自分が生きているこの「社会」の一員でもあります。

児童生徒の皆さん——時に、「子ども」と呼ばれる皆さんもまた、「大人」と同じ「社会」を形成していく主体(メンバーの一人)なのです。

ニュースやSNSの中で、「社会が悪い」、「社会のせいだ」という主張を目にしたことはありますか? 「社会が悪いのだから仕方がない」、「社会なんて変えられない」そんなふうに感じてはいませんか?

けれど、「社会」というものは、「自分以外の誰か」のことではありません。

誰かが勝手に決めているから、自分ではどうしようもない——そのふうに思うことはありません。何故なら、社会を構成するメンバーの一人である皆さんは、「社会」を変える力を持っているからです。

一人ひとりで今すぐに社会を変えることは難しいかも知れません。それでも、周りの人と話し合い、協力し、より良い解決策を探しながら行動していくことで、「変化」を生み出すことは可能です。

人は、誰しも、生まれついて、自分と社会をより良くしようと願う心、そのため必要な力を持っています。

群馬県教育委員会

群馬県教育ビジョンの本文はこちらの二次元コードから



第4期 群馬県教育振興基本計画
群馬県教育ビジョン
計画期間：2024年4月～2029年3月

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向け
～ひとりひとりがエージェンシーを發揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成～

最高位目標

相談していいし、
助けを求めても
いいんだよ

「学ぶって
楽しい」

「ナネの関係」や
「ゆるいながり」も
大事なんだよ

リアルでも、
デジタルでも、
色々なながり方
でいいよ

「知らないことを
知るのは楽しいよ」

社会をつくるのも
変えていくのも
「誰か」じゃなくて「自分」だよ。

動き出している
仲間もいるよ

自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

人は、誰しも、生まれついて自分と社会を
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。

○一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
○子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
○地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び統けていくこと

現状の課題

●私たちの(子どもたちの)主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か?
●良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力(エージェンシー)を損なっていたのではないか?
●これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか?

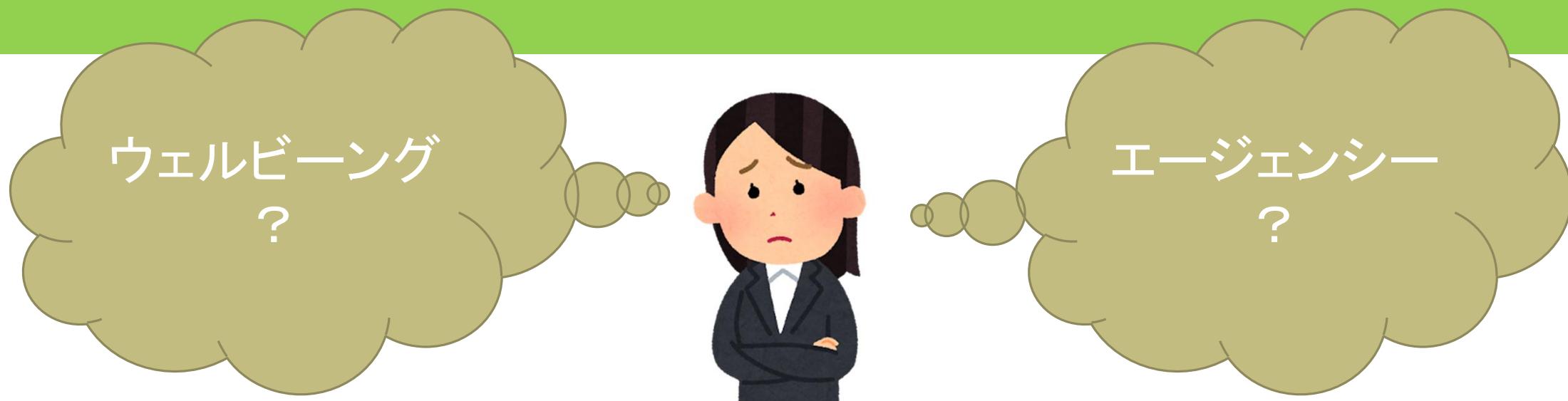
2024年3月 群馬県教育委員会

計画期間:2024年4月～2029年3月

群馬県教育ビジョン

【最上位目標】

自分とみんなのウェルビングが重なり合い、高め合う共生社会に向けて
～ひとりひとりがエージェンシーを發揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける
「自律した学習者」の育成～



☆ウェルビーングとは

多様な個人が、それぞれの幸せや生きがいを感じられ、身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義等の将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

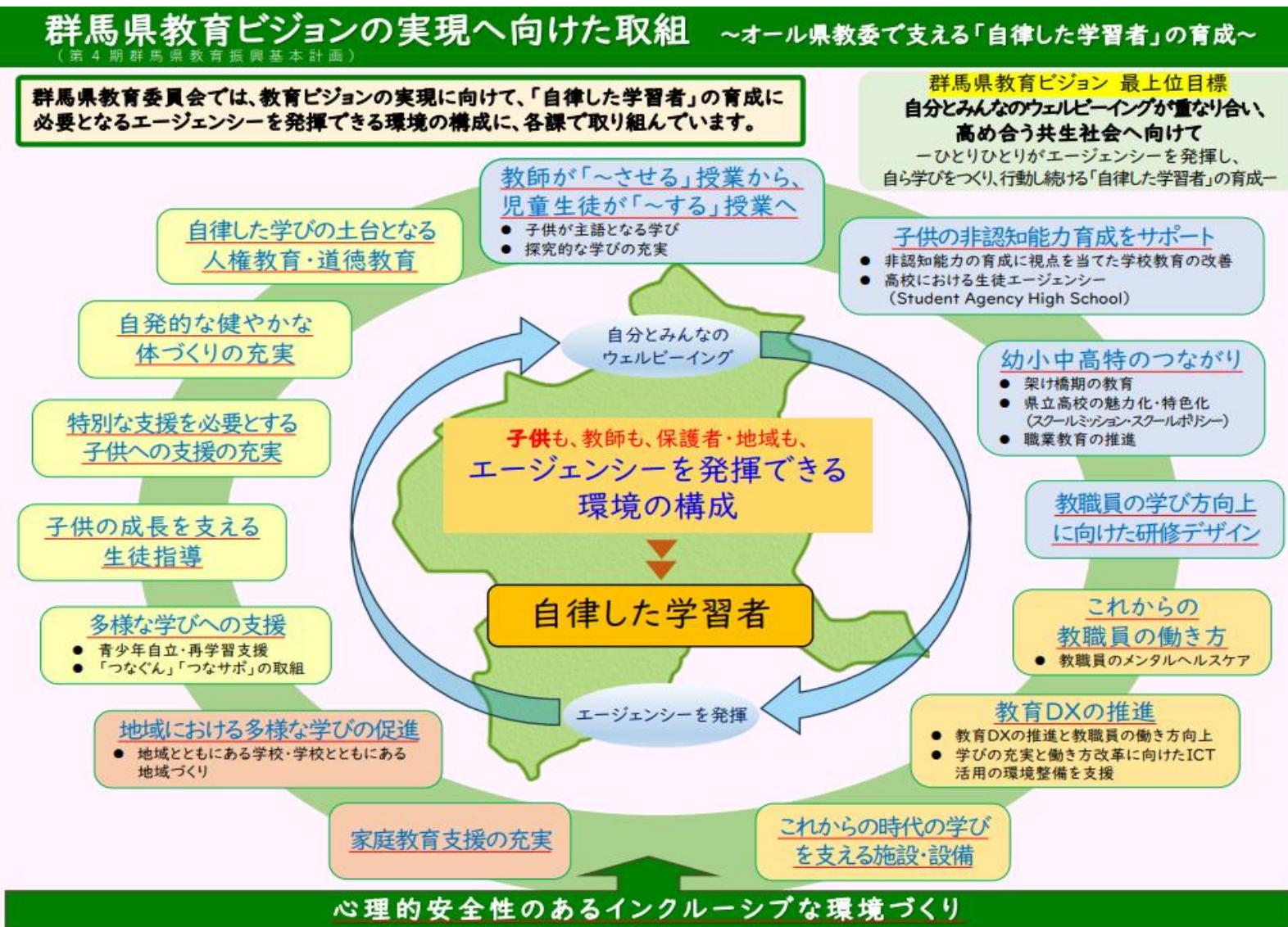
☆エージェンシーとは

人が誰しも生まれついて持っている自分と社会をより良くしていこうと願う意志、原動力。

自分も、みんなも、幸せになろう

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

2 教育の今日的な課題



令和7年度 学校教育の指針より

- 教師が「させる」授業から、児童生徒が「する」授業へ
- ・子どもが主語となる学びの実現





○非認知能力の育成

- ・「失敗を恐れない心」「人と関わる力」「自分で考え、行動する力」等、客観的な点数にしにくい能力を伸ばす
- ・高校における「自ら考え、判断し、行動できる生徒」の育成 (Student Agency High School)

○多様な学びへの支援

- ・インクルーシブ教育の推進
- ・学校を長期間欠席している児童生徒への支援



○教育DXの推進

- ICT活用による授業の充実、校務の効率化



○これからの教職員の働き方

- 教職員のメンタルヘルスケア
- 組織的な業務改善
- 教職の魅力向上



3 教師に求められる力

群馬県はこのような先生を求めていきます！

1 子供たちと共に成長し続ける教員

2 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員

3 幅広い視野と高い専門性を有する教員

1 子供たちと共に成長し続ける教員

- 変わりゆく状況に柔軟に対応し、新しい物事にも前向きに取り組むことができる。
- 子供が中心の学びとなるよう、子供たちの学びをリードしたり支援したりする「伴走者」としての役割を果たすことができる。
- 子供たちを信じて、温かく励ましながら、「失敗を恐れない心」や「人とつながる力」、「自分で考え、判断し、行動する力」などを伸ばすことができる。



2 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員



- 教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考え方や特性を認めながら子供たちの可能性を伸ばすことができる。
- 組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合うことができる。
- 郷土の歴史や文化、生活等について理解し、保護者や地域、関係機関等と連携・協働することができる。
- 高い倫理観と規範意識を備え、社会人として適切に判断して行動することができる。

3 幅広い視野と高い専門性を有する教員

- 教科等に関する専門的な知識や技能を有し、主体的・対話的で深い学びにより、子供たちに「たくましく生きる力」を育むことができる。
- 情報化やグローバル化など社会の変化をとらえ、専門性を高めるために日々努力し、学び続けることができる。
- 子供たちの実態や発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会の形成を目指すことができる。
- 学校教育目標の実現に向けて、保護者や地域の思いや願いを生かしながら、組織的・計画的に教育活動を行うことができる。

